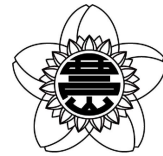




令和7年度
**西戸山小学校 地域協働学校
学校運営協議会だより No.3**



令和7年6月30日

新宿区立西戸山小学校
地域協働学校運営協議会 会長 浅井 春夫
校長 篠塚 幸次

5月28日にシンガポールからファミン小学校の教員4人、児童15人が西戸山小学校を訪れました。全校集会で交流した後、5・6年生の教室に入り給食や書写を体験したのですが、外国語のわかる子どもたちがサポートしてその場に溶け込めるよう橋渡しをしていました。また、言葉の通じない子同士、身振り手振り、ときにはタブレットを使ってコミュニケーションを取り、打ち解ける姿も見られました。子どもたちに異文化コミュニケーションの力がついていることを感じました。

第3回会議では、外国から来た子どもたちの言葉の問題について多くの意見が交わされました。

■日 時	令和7年6月19日（木） 午前9時30分～11時5分		
■場 所	校長室		
■参加者	会 長	浅井 春夫	（百人町三丁目町会長）
	副会長	竹内 和正	（タワーホームズ自治会長）
	委 員	白井 和美	（地域住民代表）
		石田 久実子	（元PTA会長）
		小原 奈津子	（現PTA副会長）
		年綱 和代	（家庭と子どもの支援員）
		篠塚 幸次	（校長）
		山中 麻子	（スクールコーディネーター・事務局兼任）
	事務局	田内 利美	（副校長）
	教育委員会	木村小枝子	（社会教育指導員）

(1) 会長挨拶（浅井委員）

5月23・24日のエンジョイ体育DAYは各学年ともすばらしかったです。相当練習されただろうし、先生のご指導もよかったのだと思います。保護者の方もおおぜい見えて、参観の入れ替えもスムーズでした。28日のファミン小学校来校時は5年生の書写の授業に入りました。ファミン小の子に話を聞こうと近寄ったら、ある児童が、「浅井さん、私が通訳するので何でもおっしゃってください」と声をかけてくれました。言葉がわからない子がいたらいつもこんなふうに手助けしているんだなと感心しました。

6月14日のつながりフェスタはとても盛況でした。私は「大久保つつじクイズ」を担当したのですが、4年生以上はほとんど正解でした。学習したことを覚えていてくれてうれしかったです。

西戸山公園で小学生が砂場で遊んでいます。穴を掘っても帰るときにきれいに元に戻してくれるのですが、今朝は大きな穴が残っていました。危ないので気をつけてほしいと思います。

(2) 学校の様子について（篠塚委員）

○エンジョイ体育DAY（5月23・24日）

保護者アンケート等をふまえて検討しました。いろいろなご意見をいただきながら、子どもたちの教育についてより良い行事のあり方を考えていきたいと思っています。

「短距離走でゴールテープがなかったのでゴールがわからない子がいた」

⇒テープは首に巻きつくと危ないので、ゴールの目印になるようウレタンバーをコースの両端に設置するなど、工夫したいと思います。

「1日を通して実施し、応援団やリレー、競技などを入れたらどうか」

⇒行事は年間トータルで見て、得られる効果に合った時間や労力を充てていきたいと考えています。また、熱中症対策で児童席にテントを張るため保護者の参観場所があまり取れません。早朝から場所の確保し合いになるという事情もあります。

○ウォーターサーバー

校内3カ所（西戸山ホール前、職員室、保健室）に設置しました。

○休み時間の外遊びについて

暑い日が続いていますが、外遊びは一律禁止ではなく状況を見て、遊べるときは水分をしっかりとって日陰で休んだりしながら過ごすよう指導しています。熱中症警戒アラートが出るなど危険な時は一律禁止にしますが、それ以外のコンディションでは、子どもたちが体調や体力などを自分で判断して、外に出るか室内にとどまるか選べるように声をかけてきます。

(3) 予算とボランティア等の活動について

○予算について（山中委員）

購入希望：昔遊び用のコマ、2年生教室前の金属ネットに代わる防球ネット

○ボランティアについて（年綱支援員）

今年度は図書58人(内、地域20人)、園芸26人(内、地域11人)の登録がありました。ありがとうございました。

6月14日の学校公開ではあじさいの花を池に浮かべて「花手水」にしました。こんなにきれいな花が咲くのは、ボランティアのみなさんが暑い中、枝を剪定したり、寒い日に肥料を施したりしてくれるからです。見えないところで西戸山小がおおぜいの方に支えられていることを感じます。



(4) 各委員から

書写指導に入ったクラスは外国籍の子が多かったが、ほとんどの子は日本語に不自由していないようだった。近隣校では日本語を話せない子が年々増えており、日本語指導の体制が限界に近い／日常生活で使う日本語と学習に使う日本語は違う。遊ぶときは問題なくても、授業についていけない子もいる／日本語を話せない子を対象とする日本語教室は初期指導を目的としており、2年で退級するのが決まり。なるべく多くの子どもが指導を受けられるよう、2年たったら自分で言葉を身につけていけるとよい／つながりフェスタは386名の児童が参加し、とても盛況だった。多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました／つながりフェスタの取りまとめ役をしてくださったのは外国籍の方だった。「この地域に住んで子どもたちが学校にお世話になっている。子どもたちにこのまちをふるさと思ってほしいし、地域に感謝してほしい。そのために自分にできることはないかと考え、活動している」とおっしゃっていて、感動した。

(5) 教育委員会から（木村指導員）

6月3日の地域協働学校研修会では日本大学の梶野光信教授を招き、文科省が推進するコミュニティスクールと新宿区の地域協働学校の違い等について講演をしていただきました。

次回は11月に実施する予定です。

■次回 第4回会議予定

日時 7月7日（月） 9時30分～10時45分

場所 校長室